

# 東京 肝臓のひろば

令和5年(2023年)2月号 第252号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201  
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564  
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会  
<http://www.tokankai.com>

今夜は鰯汁? ～山形県・鶴岡～

切り絵・佐藤廣士

東京肝臓友の会 会員のみなさん、読者のみなさん

## 国会請願署名にぜひ、ご協力を

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会 事務局長 米澤敦子

春が待ち遠しい時節になりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。いつも東京肝臓友の会の活動に暖かいご支援をくださり心から感謝いたします。

さて、今年も現在会期中(第211回)の通常国会に肝炎患者の切実な要望を込めた請願署名を提出することになりました。「ウイルス性の肝がん・重度肝硬変治療費促進事業見直しの検討」「B型肝炎の創薬」を訴えた請願署名です。

署名用紙を同封していますのでお手数をかけますが、どうぞみなさまのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。今回の署名運動は、これまでと同様に全国B型肝炎訴訟原告・弁護団、薬害肝炎訴訟原告・弁護団と私たち日本肝臓病患者団体協議会(日肝協)の三団体が共同で取り組みます。

署名は4月10日(月)を締め切りとして取り組んでいます。ご家族、ご親戚、友人、知人にぜひ、ご協力をお願いし、ご本人だけでも結構ですので取り組んでいただき、同封の封筒にて東京肝

衆議院議員 殿  
参議院議員 殿

2023年 月 日

ウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者への支援と  
治療薬開発を求める

請 願 書

請願団体 日本肝臓病患者団体協議会  
〒161-0033 東京都新宿区下連合4-27-5-201  
電話 (03) 5982-3159 FAX (03) 5982-2151

請願人氏名 (印)  
請願人住所 (印)  
紹介議員 (印)

請願項目と請願の理由

1. ウイルス性の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の実態に鑑み、重病に日々苦しんでいる多くのウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者を早急に救済するよう検討し対応してください。

私達患者団体が長年要望してきた「ウイルス性の肝がん・重度肝硬変患者に医療費助成」が平成30年12月から治療研究促進事業として開始されました。令和3年4月より条件が緩和されましたが、未だ見込数と実績数が大きく乖離しています。理由は新しい条件もこの病気に苦しむ患者の実態に合っていないからです。ウイルス性の肝がん・重度肝硬変の患者の多くは、過去1年間に2~4度入院を繰り返し退院するのではなく、年に1度程度の入院を数年にわたり繰り返しています。研究促進事業の趣旨は、予後が厳しい重度肝硬変の患者と、長期的に再発を繰り返す肝がんの患者の救済を目的としています。現在の条件では、短期的に入院・入院を繰り返し退院する重症で予後が困難な患者が対象になり、長期的に発がんを繰り返す患者は制度から外れており、また、ウイルス性肝炎を長く患った重篤患者にとって経済的負担が厳しいものとなっています。

患者は待つ余裕がありません。本研究推進事業の趣旨が具現化され、もっと多くの患者が対象になるよう、早急に制度の見直しを要請します。

2. B型肝炎ウイルスを排除する治療薬の開発と実用化をいっそう促進してください。

B型肝炎はウイルスを排除できる薬はまだありません。肝炎ウイルスが排除されない限り、常に肝がん発症の危険から免れることが出来ません。治療薬の開発と実用化をいっそう促進してください。

以上から、私達は以下の請願を致します。

臓友の会の事務所に送っていただきたく存じます。

地域の患者会に所属している方はそれぞれの患者会に返送してください。

病気療養中のみなさま、また、何かとお忙しいみなさまにお願いするのは大変恐縮に存じますが、趣旨をご理解の上よろしくご協力、ご支援くださいますよう心からお願い申し上げます。尚、追加の署名用紙が必要な方は事務所までご連絡ください。どうぞよろしくお願いいたします。

もくじ | Index |

東京肝臓のひろば 252

2 国会請願署名活動お願い

3 新しい年を迎えて

東京肝臓友の会理事長 川田 義広

4 Web 講演「ウイルス性肝炎の方も要注意！  
脂肪肝、NASH の診断と治療について」

佐賀大学医学部附属病院肝炎センター センター長 特任教授 高橋宏和先生

35 PBC・AIH・PSC通信

36 「ジコメン・メディカル・シンヤク」

帝京大学医学部附属病院 田中篤先生

37 東京肝臓友の会 活動日誌(12月、1月)

38 情報BOX 部会、患者会からの行事案内 事務局からのお知らせ

# 新しい年を迎えて

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

理事長 川田義広

新年を迎えて会員の皆様、東京肝臓友の会へのご理解とご支援をくださった皆様に心から感謝を申し上げます。そして今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスは第8波が押し寄せていますが、世の中は平静を保とうとしています。この3年間で冷静な感染防止がある程度行き渡ったこともありますが、多大な犠牲を被ったことを忘れてはなりません。私たち肝炎患者はウイルス感染に特別な想いを持っているので、新型コロナウイルスに対しても正しく対処できていると思いたいものです。もうしばらくの辛抱です。

昨年改定の東京都肝炎対策指針では、東京肝臓友の会が永年要望してきた「肝炎コーディネーター制度」に関して大きな進展がありました。従来の職域に加え、肝臓専門医療機関、区市町村、患者団体等にも肝炎コーディネーターを配置するよう拡大されました。すでに同制度の成果を上げている自治体もあるので、都は迅速に制度整備を図るものと思われます。近く始まる予定の「コーディネーター養成研修会」は、患者

会からも多くの参加者を期待しています。

ウイルス性肝炎の治療や医療の福祉は大きく進展してきましたが、患者会の活動も医療の地域間格差・患者の人権や差別の解消という課題にまで関心が及んできました。しかし、やはりまだ苦しんでいる多くの患者を救わないわけにはいきません。肝がん・重度肝硬変にまで重篤化した患者への福祉はまだ十分ではありません。ウイルス排除・抑制と同程度の医療費助成の仕組みが望まれています。感染の蔓延が国の責任に帰すと認められているのですから、医療行政はこのレベルまで到達しなければなりません。

上部団体の日本肝臓病患者団体協議会は、今年度も国会請願を行うことを決定しています。昨年の国会請願は、残念ながら不採択になりましたが、今年も患者の強い要望を訴えます。東京肝臓友の会は、中核の患者会として請願事務をまわめています。会員の皆様方も、コロナ感染を警戒しながら出来る範囲で結構です。から請願署名にご協力をお願いします。

NPO法人東京肝臓友の会は、患者の想いを世の中に伝えていくために、いろいろな困難を乗り越えてきました。会員の皆様をはじめ、肝臓学会や専門医の先生方、また、私たちの活動に協賛してくださる団体、企業の皆様の暖かいご支援、ご協力を今年も引き続き寄せてくださいますようお願い申し上げます。

## 東京肝臓友の会主催 東京都委託事業 2022 年度医療講演会

# ウイルス性肝炎の方も要注意! 脂肪肝、NASHの 診断と治療について

ステーションコンファレンス東京

収録：2022年10月31日(月)



講師：高橋宏和 先生

(佐賀大学医学部附属病院肝疾患センター センター長 特任教授)

司会 みなさん、こんにちは。2022年度東京肝臓友の会主催、第1回医療講演会を開催いたします。司会は東京肝臓友の会の米澤敦子です。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は佐賀大学の高橋宏和先生に、脂肪肝、NASHをテーマにお話いただきます。ご講演の前に、先生のご紹介をいたします。2002年、佐賀大学医学部を卒業後、2007年、同大学附属病院肝臓・糖尿病・内分泌内科に所属。2012年に医療法人ロコモディカル江口病院、ハーバード大学医学部ジョスリン糖尿病センターフェローを経て、現在は佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科の診療准教授、肝疾患センターのセンター長・特任教授でいらっしゃいます。

では高橋先生、よろしくお願いいたします。

高橋 みなさん、こんにちは。佐賀大学医学部附属病院肝疾患センタ

ーの高橋です。本日は「ウイルス性肝炎の方も要注意！ 脂肪肝、NASHの診断と治療について」と題してお話をいたします。

写真はフォウグラの写真ですが、脂肪肝とは肝臓の中、特に肝細胞の中に中性脂肪が過剰にたまった状態です(図1)。脂肪肝とは肝臓のまわりに脂肪が巻きついているような状態を想像する方もいらっしゃると思いますが、実は肝臓の細胞の中に入り込むように中性脂肪が入っています。

これは肝臓の細胞を取ったときの写真です(図2)。左から5%、一番右が80%と書いてありますが、その肝細胞の中にどれくらい脂肪が入っているのかを表しています。白くて丸い、大きい泡のようなのが脂肪です。このように脂肪肝は、肝臓の中を脂肪がどんどん埋め尽くしていきます。

脂肪肝の原因として一番有名なものは、アルコール性があります(図3)。「お酒をたくさん飲むと脂

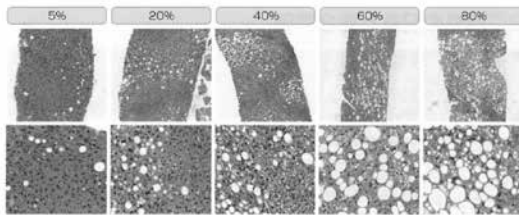
## 脂肪肝 (Foie Gras) とは？



肝細胞に中性脂肪が過剰に  
たまった状態

図 1

「脂肪肝」というのは、みなさん一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。しかし最近では脂肪肝でも非アルコール性、つまりお酒とは関係なく脂肪肝になることもわかっていきます。このお酒と関係ない脂肪肝と言いましても、お酒をまったく飲まないという人は非常に少ないです(図4)。具体的には女性で20g、男性で30gのアルコール量、これ以下



\* 脂肪化の分布は不均一なことが多い

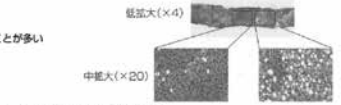


図4 脂肪化の評価: %を記載

Saga Medical School, Liver Center

図 2

であればアルコールとは関係ないと現状では定められております。アルコール20gとは具体的にどれくらいかというと、日本酒で1合、ビールの中瓶1本か缶ビール500ml1本、ウイスキーはダブルで1杯、焼酎はぐいのみで1杯、ワインはグラスで2杯、これ以上飲むとアルコールが関与しているのではないか、というラインになってきます。

## 脂肪肝の主な原因

・アルコール性



・非アルコール性



エタノール換算で  
20g/日とは？



日本酒1合 ビール中瓶1本 ウイスキーW1杯焼酎ぐいのみ1杯 ワイングラス2杯

図 3

このアルコールとは関係ない脂肪肝を非アルコール性脂肪性肝疾患と言い、これを略してNAFLD、「ナッフルデー」とか「ナッフルド」という言い方をします。このNAFLDは肥満やメタボが原因です。肥満やメタボでなくても、体質が原因で脂肪肝になる人がおられますが、NAFLDはアルコールとは関係のない脂肪肝ということ

## 非アルコール性脂肪性肝疾患とは？

・ Non-Alcoholic Fatty Liver Disease を略して **NAFLD**  
(ナッフルデー、ナッフルド) と呼ばれます



正常の肝臓



脂肪肝

- ・ **NAFLD**は肥満・メタボや体質が原因の脂肪肝で、アルコールが原因の脂肪肝とは異なります
- ・ 男性は1日あたり30g以下、女性は20g以下の純アルコール摂取が基準です

図 4

になります。その中でも今日のタイトルになっている「NAFLD」ですが、NAFLDがアルコールとは関係のない、いわゆるメタボと関連しやすい脂肪肝の全体で、その中でもNAFLDは進行性の病態と考えてもらっていいと思います(図5)。左は炎症や線維化がまったくない、いわゆるツルツルの脂肪肝の状態です。ツルツル

としてやや黄色みがかった肝臓で、中には白い泡のような脂肪がたくさん詰まっています。右はかなり進行したNASHのモデルで、表面がザラザラとしています。右下は肝臓の細胞の中の写真で、白い泡のような中性脂肪に加えて青い部分＝線維化が増えてきているのがわかります。

これはNASHの最終的な状態

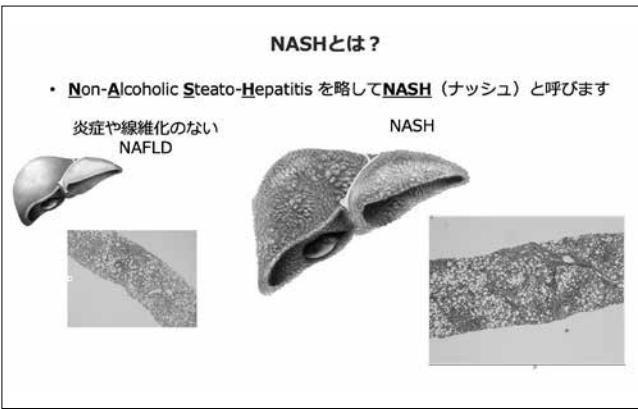


図5

で、肝硬変、肝臓がんを患っている患者さんの肝臓です。(図6)。この写真を見てわかるように、横幅はたった18cmしかありません。一般的に成人の肝臓であればこれよりも大きく、体格にもよりますが、重さは800g～1kg前後になりますが、この方の肝臓はわずか724gです。表面はゴツゴツして、全体的に少し黄色っぽく、真ん中の上のゴツゴツが消

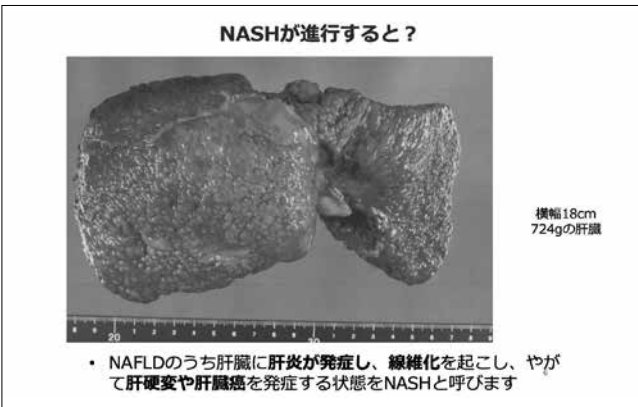


図6

えていいる部分にはがんができています。このような脂肪肝関連の肝臓がんは、実は全国ですごく増えていきます(図7)。これは東京大学の建石先生らがまとめた報告ですが、ある調査で1992年に2200名だったのが、2010年には1万1600名と、20年間で53倍に肝臓がんは増えました。この20年間で大腸がん

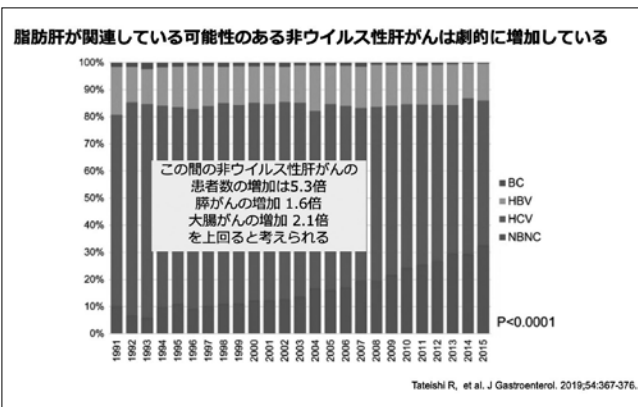


図7

は16倍、膵臓がんは2倍ほど増えたのに対し肝臓がんは5倍なので、すごい勢いで増えてきているというこになります。また九州のデータを見ても、脂肪肝関連の肝臓がんが、C型肝炎の肝臓がんを数のうえで逆転している現象も起こっています(図8)。

ひょっとしたらみなさんの身のまわりの知人やご家族に、お酒を飲

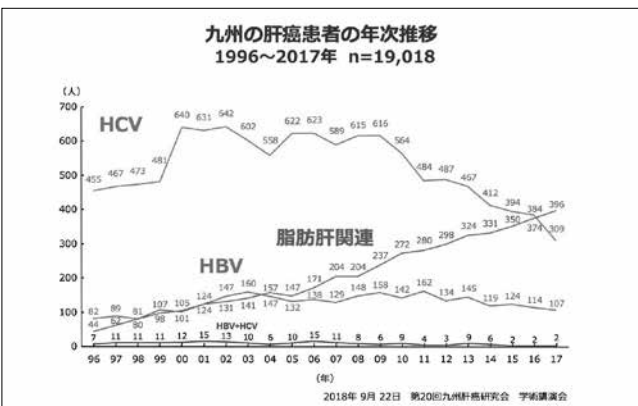


図8

# B型肝炎



## オンライン交流会のお知らせ

WEB会議システムのZoomを使って、  
気軽にお話ししましょう♪

2023年 **3月18日(土)13時30分～15時**

**対 象** B型肝炎の患者・ご家族の方ぜひご参加ください。

**申込方法** メールにてお申し込みください。

**申込メ切** 3月11日(土)



①お名前 ②電話番号 ③3/18 オンライン交流会参加希望

①②③を明記の上、seikyu@tokankai.comまでご連絡ください。

折り返し、ご案内のメールをお送りします。

☆ 3日経っても当会からのメール返信がない場合は、迷惑メールと判断されて届いていない可能性があります。上記アドレスから受信できるよう設定をご確認いただき、再度ご連絡をお願いします。

☆ ご使用のパソコン・タブレット・スマートフォンに、予めZoomアプリのインストールをお願いします。

### ●B型肝炎部会患者交流会のご報告

昨年10月29日(土)に、ウェブ会議システム「Zoom」を使ったB型のオンライン患者交流会を行いました。コロナ禍もありここ数年思うような活動ができていませんでしたが、B型部会としては前回5月に続いてのZoom開催となりました。今回は、関東各地や岡山県からの参加者も含め6名の方にご参加いただきました。

オンラインでのB型肝炎部会の開催と言うことで、同じ病気の仲間どうしで参加者の自己紹介や治療状況や近況を中心に気楽な雰囲気での情報交換が行われました。

参加者の中には20代の方もおり、母子感染対策が十分でなかった一面も感じられました。若年層への核酸アナログ製剤投与とタイミングや薬剤選択にも課題があるように感じられました。

また、感染経路の特定に際してもまだまだ親族内でも話題にしにくい実態もあり、今回の交流会でも患者への偏見差別問題も話題となり、患者を取り巻く環境にはまだまだ厳しいものがあると感じられました。

患者交流会はZoomオンラインであるがゆえに、全国各地からの気軽な参加をお待ちしております。引き続き、皆さんにとって有意義な交流会にしていければ幸いです。

次回の開催について2023年3月18日(土)に開催する予定です。

(B型肝炎部会 山田・萩部)

# 同病者による面談相談

☆肝臓病のこと、生活のこと、なんでも お気軽にご相談ください☆

日時：**3月30日(木) 4月30日(日)**

13時30分～16時30分(1人1時間)

場所：東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象：東京都在住、在勤の方優先

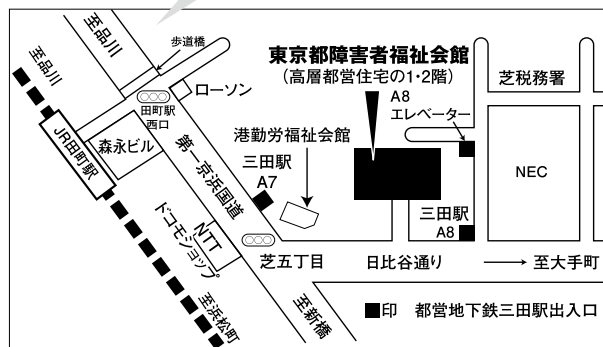
主催：東京都

相談料：無料(予約制)

相談員：米澤敦子(東京肝臓友の会 事務局長)

## 【交通案内】

- ◆JR「田町駅」西口徒歩5分
- ◆都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- ◆都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



## 申込方法

※電話でお申し込みください。

【申込先】都障害者福祉会館相談係

〒108-0014 港区芝5-18-2  
☎ 03 (3455) 6321

## 会計スタッフ募集

東京肝臓友の会では、  
会計スタッフを募集しています。

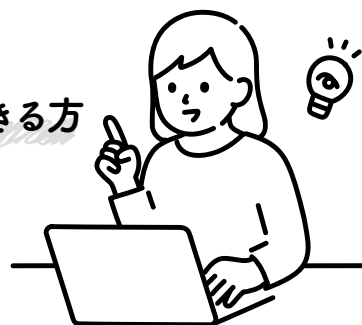
### ・ 基本的なパソコン操作

(Word、Excel、インターネット等)ができる方

### ・ 勤務は週1日(月・木・金いずれか)、

10時～16時30分

### ・ 経理の経験は問いません



お待ち  
しています!

お問い合わせ・ご応募は下記までお電話ください。

NPO法人 東京肝臓友の会 Tel **03-5982-2150**

(※祝日を除く 月・木・金、10時～16時)

本会報掲載の記事を転載する場合はご連絡ください。